

令和4年度 第3回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月12日（水） 午後1時00分から2時15分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 本多 靖明、石川 公子、名倉 久純、杉浦 猛弘、藤本 桂、鈴木 仁、永田 真也
- 4 欠席委員 なし

- 5 学校支援コーディネーター 山田 佳敬、花島 佳子、鈴木 恭子
- 6 学 校 南瀬 悦司（校長）、杉山 友里（教頭）、高林 秀仁（教務主任）
波多野 祐子（CSディレクター）
- 7 教育委員会 鈴木 陽子（教育総務課）
- 8 傍 聴 者 なし

9 協議事項

（1）幸せを実現できる子供を育てるために ～キャリア教育の推進について～

- ① 学校の取組紹介
- ② 幸せを実現するために付けたい力

（2）学校評価アンケートの項目について

10 会議録作成者 CSディレクター 波多野 祐子

11 会議記録

司会の教務主任 高林から、委員総数 8人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）幸せを実現できる子供を育てるために

① 学校の取組紹介

南瀬校長より、7月から9月までの学校の教育活動についての報告があった。
林間学校、30分間回泳、一斉下校訓練、6年校外学習など。

② 幸せを実現するために付けたい力

- ・継続して出来る活動を、何か考えてやるのが良いのではないか。（本多委員）
- ・キャリア教育、といっても、なかなか具体的に活動を考えるのは難しい。
- ・子供が世の中から影響を受ける面が多く、言葉が人を傷つけることが多い現代であるので、人を思いやる心を育てる教育や活動が必要ではないか。（石川委員）
- ・過去の活動を振り返り、検討するのも大事ではないか。
- ・夢を持たせるための活動。例えば、異業種の講師を集め、児童が選び話を聞く未来授業のような活動をしたらどうか。
- ・理不尽な事を受けた時に、どうすれば良いのか（心のストレスの発散の仕方など）を学ばせることが必要ではないか。（名倉委員）
- ・子供たちが将来を描けるような活動、つまり、船越小学校区の地域や保護者で、未来授業のような活動ができるのではないか。（杉浦委員）

- ・キャリアプランニング（将来どうなりたいか、などを考える）には、身近な大人（自分の親や、友達の子など）の職業の話などを聞くことが、より現実的に感じ、感謝も感じ、視野もひろがるのではないかと。（永田委員）
- ・人間の陰と陽、他人と自分の距離感、自分も他人も完璧ではない、など不完全なものを教える活動や完全に見える夢や希望に対する、不完全な中での努力を教える事が必要ではないのか。（鈴木 仁委員）
- ・子供にも大人にも、厳しい言葉が使えない時代ではあるが、大変で厳しく、努力が必要な経験・体験を通して、ネガティブな言葉をポジティブな言葉にできるようになってほしい。（山田委員）

（２）学校評価アンケートの項目について

- ・否定的な意見ばかりではなく、肯定的な意見も書きやすくするために、「継続してほしいこと」と「改善したいこと」の２つに項目を分けてはどうか。そうすることで、成果と課題を明確にすることができる。（山田委員）

司会から、次回会議は、令和5年1月27日（金）午後3時00分から（変更の可能性もあり）会議室で開催する旨の報告があった。